

令和5年度 指定管理施設運営状況評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市奥薬研修景公園及びむつ市薬研温泉露天風呂	
指定管理者	団体名	大信産業有限会社
	代表者	畑中 祐美子
	所在地	むつ市大畑町本町80-94
指定期間	令和 3年 4月 1日 ~ 令和 6年 3月31日 (3年間)	
指定管理業務の概要	1. 観光客や市民等の利用者の健康増進と保養の場の提供に関すること。 2. 観光情報の提供及び観光振興に関すること。 3. 修景公園・薬研温泉露天風呂の清掃その他、環境整備に関すること。 4. 修景公園・薬研温泉露天風呂の施設、設備等の維持管理に関すること。 5. 露天風呂の施設の提供に関すること。	

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	計 画 額 ①	実 績 額 ②	増 減 (②-①)
収入合計 (A)	10,829	9,095	△1,734
うち利用料金額	2,995	1,341	△1,654
うち指定管理料	7,824	7,752	△72
支出合計 (B)	10,829	11,032	203
うち人件費	4,266	5,174	908
収支差 (A-B)	0	△1,937	△1,937
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	上半期は新型コロナウイルスが感染症法上の5類移行となったが、ゴールデンウィーク期間中天候に恵まれず利用者が思うように伸びなかった。また、下半期は記録的な高温により紅葉の状態が例年より悪く繁忙期の売上に影響を及ぼし計画を大きく下回りました。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	計 画 ①	実 績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	レストハウス	16,300	15,786	△514
	夫婦かつばの湯	11,300	4,951	△6,349
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施(無) <ol style="list-style-type: none"> 観光客から、周囲の景色もよく風呂もきれいだとの評価をいただきました。 施設内外の清掃や美化に努め来館者から清潔感があって良いとの評価をいただきました。 記録的な高温により風呂の温度管理も大変であったが加水等により温度管理をし利用者から「いいお湯だった」との評価をいただきました。 時期によりアブやカメムシ等が発生し苦情があり害虫駆除に努めるとともに、アブが発生する夏場にはアブの天敵オニヤンマの模型を作成し随所に設置したら絶大な効果があり観光客に好評でした。 				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収入	支出
入浴ポイントカードの実施	19	0	0
収穫祭の実施	0	0	0
バスタオル・湯あみ着貸出料	バ147・湯46	バ44・湯23	バ14・湯12

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価（A：優良 B：適正 C：要改善）

評価基準 A（優良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果があった。

B（適正）：計画された業務水準を概ね達成した。

C（要改善）：計画された業務水準を達成できなかった。

評価項目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	B	B
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価

④指定管理者は当該評価期間における自己評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、改善策も記載すること。

令和5年度は、5月8日に新型コロナウイルスが感染症法上の5類に移行し「アフターコロナ」を迎え行動制限がなくなり、中止や規模を縮小していた地域の団体が催す文化行事や、イベントが復活し社会経済活動が平準化・活発化してきました。当施設においても大手旅行業者のツアー行程表の一部に立ち寄り湯として組み込まれるなどしたことから「夫婦かつぱの湯」の県外利用者が昨年が36%だったのに対し今年度は52%となった。しかしながら記録的な高温により風呂の温度も上昇し加水等により調整したものの入浴者数は昨年を若干上回っただけでした。また、繁忙期の紅葉シーズンも高温により紅葉の状態が悪く思うように売上が伸びなかった。

7. 市の所管課総合評価

④所管課は当該評価期間における総合評価を記載すること。また、個別項目評価をCとした場合は、指導内容も記載すること。

令和5年度はアフターコロナを迎え、大手旅行会社のツアー行程表の一部に組み込まれたことで、「夫婦かっぱの湯」の県外利用者が18%増加したとの結果はとても素晴らしいことだと思います。指定管理者は、年間を通して徹底した湯温の温度管理及び、施設内外の整備・清掃に力を入れていただいていると感じています。日頃適切に管理している温泉は、ツアーで来ていただいた観光客の皆様的心に残るものとなったと思います。引き続き施設の維持・管理に努めることで、入浴者数も徐々に伸びてくることと思います。今後も県外県内問わず、利用者の健康促進と保養の場として愛される観光施設を目指し、日々適切な管理をよろしく願いいたします。